

おうちの方へ

保健室からの・・・つ・ぶ・や・き

ある日の保健室です。

A：「先生、お腹痛い。」

私：「トイレは行ってきた？行ってないなら一回行っておいでよ。」

A：「え～めんどっち～。」

私（心の声）：『自分のことやで。先生が代わりにできませんけど。』

私：「熱はかったら病気の記録に書いてね。」

A：「え～めんどっち～。」

私（心の声）：『5秒で書けるって。』

私：「お布団入る前に上着脱いで。」

A：「え～めんどっち～。」

私（心の声）：『そのセリフ、もう聞きたくないよ…。』

他にもこんな子が・・・

朝一番にやってきて、「あ～しんど。疲れてるねん。寝さしてほしい。」…なのに、中休みはしっかり運動場で遊んでいました。

そうじの途中で、「（体が）すっごいだるい～。」…なのに、検温も終わらないうちに、たまたま通りかかった友達と放課後遊ぶ約束をしてました。

こんなことが続くと、いいかげん「どないやねん！」と言いたくなります。何かおかしいと思うのです。

「めんどろ。だるい。疲れた。」を口癖のように言うのは、志賀小の子どもに限らず全国的にいると思います。保護者のみなさんの中にも、私と同じ思いをお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

この「おかしさ」の背景に何があるのか、すぐにこたえは出てきませんが、保健室で子どもとかわる中で、じっくり探っていけたらと思っています。



熱中症対策・・・ご協力ください！

今年は例年より早く梅雨入りし、蒸し暑い日が続いています。市内でも熱中症とみられる症状で搬送される児童が出ています。本校としては、以下の点で熱中症対策を講じてまいりますので、ご協力をお願いします。

① 休み時間等の体を動かす遊び、体育学習時のマスクの着用について

熱中症対策を優先とし、マスクを外すように指導します。また帽子を被るようにも指導します。

② 多めのお茶、水の用意をお願いします

休み時間や体育の時間だけではなく、暑い中、歩いて登下校します。1本ではなく、2本など複数の水筒の用意をお願いします。

③ 早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを整えてください

暑くなり、朝から元気がない児童の姿も見られます。十分な睡眠を取り、しっかりと朝食を食べることで暑さに負けない体を作れます。規則正しい生活が送れるように、ご家庭でもご配慮ください。